

マインドマップを用いた図解要約による情報保障

マインドマップとは

マインドマップとは、英国のTony Buzan氏が1970年代に脳思考方法である放射的思考から発想を得て提唱された図解表現技法のひとつです。

■2 マインドマップフィナルブック トニー・ブザン、近藤隆幸子訳 (マインドマップ創始者)

磯野研究室 1

マインドマップによる情報保障

- ◆ マインドマップと呼ばれる図解表現技法を応用し、講義内容の要点やキーワードで図解要約した。
- ◆ 従来のPCノートテイクとマインドマップによる図解要約手法を併用することにより、講義内容が理解しやすくなり、情報保障の充実が期待される。

磯野研究室 2

マインドマップによる図解要約の例

磯野研究室 3

PCノートテイクとマインドマップの併用

磯野研究室 4

マインドマップによる講義支援の様子

■5 マインドマップ作成風景

磯野研究室 5

マインドマップによる情報保障の特徴

<p><長所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容の全体を把握できる ■ 図解になっており見易い ■ 作業疲労が少ないため1人でも作成できる ■ 人件費の運用コストが安い ■ 高いスキルを必要としない ■ 写真や図表、数式も記述可能 	<p><短所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容が文章化されない ■ 要点やキーワード図解のため詳細内容が伝わりにくい ■ 各個人によって作成されるマインドマップが異なる
---	--

↓

PCノートテイクとの併用が望ましい

磯野研究室 6

問い合わせ先

日本工業大学 工学部 情報工学科 磯野春雄

Mail: isono@nit.ac.jp

URL: <http://leo.nit.ac.jp/~isono/>